

井原市教育委員会 9 月定例会会議録

1. 招 集 令和 8 年 8 月 3 1 日(月)
2. 開 会 令和 8 年 9 月 1 1 日(金) 1 4 時 5 0 分
3. 閉 会 令和 8 年 9 月 1 1 日(金) 1 6 時 3 5 分
4. 会議の場所 井原市役所 4 0 3 会議室
5. 出席又は欠席した委員

出席委員	教 育 長	森 川 孝 一
	教育長職務代理	藤 井 秀 彦
	委 員	奥 田 隆 夫
	委 員	西 田 友 美
	委 員	服 部 教 弘

6. 会議に出席した職員

西村教育次長、高田参与、岡崎教育総務課長、中川学校教育課長補佐
片山生涯学習課長、青木平櫛田中美術館課長、唐木教育総務課長補佐

7. 教育長が告示した議題

附議事項

【報 告】

報告第 1 6 号 令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果について

【議 案】

議案第 1 7 号 井原市教育委員会事務事業第三者評価委員会委員の委嘱について

議案第 1 8 号 井原市文化財保護審議会委員の委嘱について

議案第 1 9 号 井原市立幼稚園園則の一部を改正する園則について

【その他】

井原市立認定こども園条例の制定について

8. 傍聴者 なし

9. 議 事

(1) 開 会

・森川教育長が開会を宣言

ただいまから、9 月定例会を開会いたします。

(2) 前回会議録の承認・公開について

【森川教育長】前回会議録の承認、公開について事務局から説明をお願いします。

【唐木教育総務課長補佐】7 月定例会の会議録につきましては、既にご確認をいただいております。本会議終了後にご署名をいただきますので、よろしくお願いします。

なお、議案第16号とその他の令和9年度岡山県井原市立高等学校入学者選抜実施大要については、会議規則第15条第1項第6号を適用し、非公開としております。

【森川教育長】事務局からの説明に、ご異議ございませんか。

— 全会一致で承認 —

【森川教育長】ご異議なしということで、処理させていただきます。

(3) 教育長の報告事項

【森川教育長】次に報告事項に移ります。私の方で資料を用意させていただいております。

— 教育長だより「井原“志”民 第150号・第153号・第158～159号」を説明 —

(4) 議 事

附議事項

【報 告】

□報告第16号 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

【森川教育長】それではまず、報告第16号 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

【中川学校教育課長補佐】それでは、報告第16号について説明いたします。

— 議案読み上げ —

【森川教育長】ご意見、ご質問はありませんか。

【藤井職務代理】中学校数学については、全国及び岡山県平均正答率をいずれも下回る結果になっています。先ほど教育長からの報告事項の中で「シン・読解力」のお話がありましたが、数学の問題の中にも、問題文を読み解く力、いわゆる読解力が必要となる問題もあるのでしょうか。

【中川学校教育課長補佐】例えば、中学校の図形の問題であれば、証明問題などがありますので、文章を読む力も必要になってきます。何を問われていて、何を答えなければならないのか、そういったことを正確に読み取る力は、どの問題においても必要だと思います。

【森川教育長】算数や数学の問題には、独特な表現があります。そうした表現を理解する力も必要になってきます。

【西田委員】先ほどのお話を伺って思い出したのですが、小学校1年生の算数では、「3番目」と「前から3番目」というような表現も、その1つなのかなと思いました。そうした表現を理解しなければ、問題を解くことができません。問題をしっかり読み解く力というのは、重要なのだと思います。

【服部委員】今後の対応として、「井原市学校力向上研修会」や「井原市学力向上対策研修会」を開催し、授業改善を行うと記載されていますが、学校現場の教職員の方は、今回の全

国学力・学習状況調査について、学校別の結果は把握されているのでしょうか。

具体的には、例えば、ある小学校で算数の特定の分野の正答率が高かった場合に、どのような授業を行っているのかを把握し、授業改善の参考にするといった活用もできるのではないかと思います。そういった情報は、現場の先生方には提供されないのでしょうか。

【中川学校教育課長補佐】各校の正答率の状況については、提供していません。

【西田委員】私たちが今回報告を受けている内容については、各校にも通知して共有されているということでしょうか。

【中川学校教育課長補佐】そのとおりです。今回配布している資料については各校へ配布していますが、学校別の正答率までは情報として提供していません。

【服部委員】保護者の方も、「井原市教育便り ともなび」で全国学力・学習状況調査の結果を目にすることができると思いますが、その結果を活用して、子どもに対して指導などをされているのでしょうか。

【中川学校教育課長補佐】市全体の数値ということで、家庭でお話をされることもあるかとは思いますが。児童生徒個人には個人票を渡していますので、自分の子どもの成績を把握することはできますし、懇談の際にも活用していると思います。

【奥田委員】今年の小学校6年生は国語、算数ともに全国及び岡山県の平均正答率を上回っています。良い結果が出ていますが、その要因については、どのように考えていますか。

【中川学校教育課長補佐】具体的な要因については、分かりかねますが、各校において、学力が十分でない分野の問題を重点的に取り組んだり、補充的な学習を行ったりするなど、それぞれ工夫して取り組んでいます。

今回の調査対象となった6年生だけでなく、全校的に取り組んでいます。先ほど教育長からもありましたが、特定の教員だけが取り組むのではなく、組織として、学校全体で取り組むことにつながっているのではないかと考えています。

【奥田委員】各学校において、学年ごとに学力の弱いところを分析し、そこを補充しているという取組が定着しつつあるということですね。

【西田委員】家庭学習についてですが、先日の教育審議会の学校教育部会で、木之子中学校の校長先生が、家庭学習の取組について、なかなか成果が上がらず、見直しを検討しているというお話をされていました。

当初は成果が上がっていたものの、近年は成果が上がらなくなってきたため、見直しが必要だと感じており、今年度はこれまでの取組を辞めているということでした。

小学校では自主学習をどの学校でも行っていると思うのですが、中学校ではどのようなのでしょうか、木之子中学校と同様に、自主学習を行っていない学校もあるのでしょうか。

【中川学校教育課長補佐】宿題に加え自主学習を生徒に課しているかどうかについて、市内の中学校全体の状況までは把握していません。最近では、「週末課題」のように、ある程

度の期間を設け、指定する範囲を学習するよう生徒自身に計画を立てさせて取り組ませている学校が多くなってきていると感じています。

【服部委員】学校の授業時間以外に、1日あたりどのくらいの時間、勉強をしますかの問いに対し、1時間以上と回答した割合が小学校、中学校ともに全国及び岡山県の平均を大きく下回っています。業間休みに自主学習するという時間なども入るのでしょうか。

【中川学校教育課長補佐】その時間も含まれます。

【藤井職務代理】塾の時間も入りますよね。

【中川学校教育課長補佐】もちろん含まれます。

【奥田委員】学校での学習を、いかに家庭学習につなげていくかが重要なのではないかと考えます。子どもたちが授業で十分に理解できなかったところを振り返ることができるよう、授業と家庭学習との間に関連性を持たせ、学びにつなげていければ良いのではないのでしょうか。「授業は授業、家庭学習は家庭学習」と分けて考えるのではなく、両者を連動させるような仕組みづくりができれば、学力の向上にもつながっていくのではないかと思います。

【藤井職務代理】現在はタブレット端末もありますので、自分で調べることも容易にできますし、AIが教えてくれる環境もあります。スマートフォンが悪いというわけではありませんが、どうしてもそちらへ流れてしまっている面もあるのではないかと思います。経年で見ても、家庭学習を1時間以上行っている児童生徒の肯定的回答率は減少しているのでしょうか。

【中川学校教育課長補佐】減少傾向にあります。

【西田委員】今後の対応のところに、「リーディングスキルテスト」という言葉が出てきますが、あまり聞きなれない言葉ですが、どういったものなのでしょう。

【森川教育長】「シン・読解力」を測定するテストのことを「リーディングスキルテスト」と言います。

【森川教育長】先ほど奥田委員からもお話がありましたが、授業改善において最も大切なことは、学校での授業をいかに家庭学習につなげていくかということだと思っています。岡山県でも「家庭学習のスタンダード」を作成していますので、そういったものも参考にしながら、改善に取り組んでいかなければならないと考えています。

【服部委員】今年度からAIドリルを導入されていますが、その効果については、どのように感じていますか。

【中川学校教育課長補佐】導入したばかりですので、学力向上につながっているかどうかは現時点ではわかりません。ただし、児童生徒一人一人の学力に応じた問題を出してくれますので、取り組みやすいということはあると思います。そうしたこともあり、質問紙調査のICT使用の割合が高くなっているのではないかと考えています。

【奥田委員】来年度から全国学力・学習状況調査は、全教科でCBT方式により実施される

のですね。

【中川学校教育課長補佐】そのとおりです。今秋に岡山県の学力・学習状況調査が実施されますが、来年度の全国学力・学習状況調査に向けたリハーサルも兼ねて、ＣＢＴ方式で実施することとなっています。

【森川教育長】ほかにないようですので、報告第１６号についてはご承認いただけますでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【森川教育長】報告第１６号については、承認することといたしました。

□議案第１７号 井原市教育委員会事務事業第三者評価委員会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第１５条第１項の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

□議案第１８号 井原市文化財保護審議会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第１５条第１項の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

□議案第１９号 井原市立幼稚園園則の一部を改正する園則について

【森川教育長】次に、議案第１９号井原市立幼稚園園則の一部を改正する園則についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

【岡崎教育総務課長】それでは、議案第１９号の説明を申し上げます。

— 議案読み上げ —

【森川教育長】ただいまの事務局の説明に対するご質問はありますか。

【藤井職務代理】認定こども園及び幼稚園の入園の申込みの窓口については、子育て支援課に一本化されるということですか。

【岡崎教育総務課長】認定こども園及び新規の幼稚園への入園申込みについては、子育て支援課が窓口になります。一方、幼稚園の継続申込みについては、幼稚園を通じて教育委員会へ申込書を提出していただきます。なお、幼稚園への新規入園希望者については、子育て支援課で申込みを受け付け、その後、教育委員会へ申込書が回付されることになります。

【藤井職務代理】入園申込書の様式についても、統一されるのですか。

【岡崎教育総務課長】認定こども園及び幼稚園のいずれにおいても、１号認定の子どもが在園することになることから、入園申込書については統一することとしています。認定こども園条例施行規則で定める様式を使用することとなります。

【藤井職務代理】これまでは、園長が入園の許可を行っていましたが、改正後は教育委員会

が行うことになっています。事務手続上、不都合などはないのでしょうか。

【岡崎教育総務課長】特にありません。令和9年度以降の入園申込から、教育委員会が入園の承諾・不承諾を行うこととなりますが、幼稚園や子育て支援課と連携しながら対応していきたいと考えています。

【藤井職務代理】関係部署と連携をしっかりと図っていただき、事務手続きに誤りが生じないようにお願いしたいと思います。

【西田委員】10月1日から園児募集を開始するとのことですが、それぞれの幼稚園の園児数が確定する時期というのは、いつ頃になるのでしょうか。

【岡崎教育総務課長】認定こども園においても、1号認定の幼児を受け入れることとなります。認定こども園の場合では、定員を超える場合には抽選となるため、その結果によっても園児数が変動することとなります。こうしたことを踏まえ、1次募集の結果については、12月頃になるのではないかと考えています。

【西田委員】これまでは学区があったため、各幼稚園においても、ある程度の園児数を把握できていたのではないかとと思いますが、12月ぐらいまではわからないということですね。

【岡崎教育総務課長】現在、幼稚園に通っている園児については、来週から各園を通じて、来年度の就園意向について調査を行うこととしています。現在と同じ幼稚園への通園を希望されるのか、他の幼稚園又は認定こども園等への入園を希望されるのか調査し、来月中旬頃には、ある程度取りまとめができるものと考えています。

【西田委員】現在、幼稚園に通っている園児については、来月中旬頃には、ある程度把握ができるということですね。

【岡崎教育総務課長】そのとおりです。新規の入園希望者については、10月30日が第1次申込期限になっており、定員を超える場合には抽選を行って決定することになりますので、やはり11月から12月頃になるものと考えています。

【森川教育長】ほかにないようですのでお諮りします。議案第19号については、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【森川教育長】ご異議ないようですので、議案第19号は原案どおり可決しました。

□その他 井原市立認定こども園条例の制定について

【森川教育長】次に、井原市立認定こども園条例の制定についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

【岡崎教育総務課長】それでは、井原市立認定こども園条例の制定について説明させていただきます。

— 9月11日市議会臨時会で可決された議案第51号 井原市立認定こども園条例の

制定についてに関連する教育委員会関係の条例の一部改正及び廃止について説明 —

<教育委員会関係条例>

- ・井原市立幼児園条例の廃止
- ・井原市立小学校、中学校、高等学校及び幼稚園に関する条例の一部改正
- ・井原市立幼稚園保育料に関する条例の一部改正
- ・井原市スクールバスによる児童、生徒及び園児輸送に関する条例の一部改正

【森川教育長】以上で、予定しておりました議事は、全て終了いたしました。

(5) そ の 他

【森川教育長】その他として、委員のみなさんから何かございますか。

【西田委員】来年度、保護者の希望によっては、1人又は2人の園児で幼稚園を継続する可能性があります。少人数の環境の中で、どのように幼稚園教育の質を確保していくのか、また、どのように子どもたちの社会性等を育ていくのかという点について、懸念しています。保護者が幼稚園教育を希望される以上、幼稚園を存続させるという計画、教育委員会の考えについては理解していますが、他園との交流を行うにしても限界もあると思います。また、子どもたちの学びを保障という観点からも、課題があるのではないかと感じています。こうした少人数の環境における幼児教育について、今後どのように対応していくのか、お考えをお聞かせください。

【中川学校教育課長補佐】どこまで対応できるかという課題はありますが、他園との交流を行うことは、一つの方法として考えられます。一方で、少人数の環境の中で、幼児教育をどこまで充実させることができるのか、また、子どもたちの社会性がどのように育ていくのかという点については、大きな課題であると考えています。

【西田委員】保護者が少人数であっても幼稚園での教育を希望されるのであれば、その意向を尊重する必要があると思います。その一方で、子どもたちの成長過程における大切な時期に、他者との関わりを通じて社会性等を育むことができるよう、様々な工夫をしながら取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

【森川教育長】正直、少人数の環境の中で社会性等を育むことは難しいと思っていますが、工夫をしながら取り組んでいきたいと思っています。

【森川教育長】他に無いようですので、事務局から何かありますか。

【唐木教育総務課長補佐】本日の附議事項のうち、議案第17号及び議案第18号は、人事案件のため、非公開として議事録を作成させていただきます。なお、会議録の公開の可否については次回定例会で承認をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

— 各担当課長から教育委員会令和8年10月行事予定表により行事予定を説明 —

— 10月定例会を10月14日水曜日午後1時30分から、

403会議室で開催に決定 —

(6) 閉 会

【森川教育長】以上を持ちまして、9月定例会を閉会いたします。委員のみなさま、本日はありがとうございました。